

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年3月15日(2018.3.15)

【公開番号】特開2016-64009(P2016-64009A)

【公開日】平成28年4月28日(2016.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-026

【出願番号】特願2014-194801(P2014-194801)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月30日(2018.1.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

演出装置と、

前記演出装置を制御可能な演出制御手段と、

調整可能期間中に前記演出装置による演出の演出段階の調整を行うことが可能な調整手段とを備え、

前記演出制御手段は、前記調整手段によって調整される演出段階で、前記調整可能期間中に複数種類の演出態様による演出を制御するとともに、前記調整可能期間中に現在の演出段階を示す特別画像を表示可能に制御する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

(手段1)本発明による遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機であって、演出装置(例えば、枠L E D 2 8、装飾L E D 2 5)と、演出装置を制御可能な演出制御手段(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100におけるステップS 8 1 7, S 8 2 3, S 8 2 8, S 8 0 0 5, S 8 1 0 5を実行する部分)と、調整可能期間中(例えば、輝度調整可能期間中)に演出装置による演出の演出段階の調整(例えば、輝度調整)を行うことが可能な調整手段(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100におけるステップS 8 2 1～S 8 3 4を実行する部分)とを備え、演出制御手段は、調整手段によって調整される演出段階で、調整可能期間中に複数種類の演出態様による演出を制御する(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS 8 2 1～S 8 3 4の処理において輝度調整期間中にレインボーアウトputを実行することによって、調整後の輝度で複数の発光色で枠L E D 2 8および装飾L E D 2 5を発光させる)とともに、前記調整可能期間中に現在の演出段階を示す特別画像を表示可能に制御する(例えば、図33(3)～(5))こと

を特徴とする。そのような構成によれば、調整中の演出装置による演出の演出段階を複数種類の演出態様で確認することができるので、演出装置を適切な演出段階に容易に設定することができる。